

代表取締役 横田好雄

「お客様とともに歩む」これが私たちの企業理念です。生活や社会環境の変化・働き方の変化とともに、「保険」に対するニーズも大きく変化しています。しかし、保険があるから「安心」、「保険」があるからチャレンジできる、一步を踏み出せる・・・昨日の不安を今日「保険」が解消してくれることは、今も昔も変わりません。

私たちは、お客様の「気づき」と「ニーズ」の「先回り」に重きを置いています。もちろん、私たち自身もお客様との会話の中から「新たな気づき」をいただくことがたくさんあります。ぜひアイケーの担当者と「話し込み」(相談)をしてください。あらたな「気づき」が必ずあります。それが「お客様とともに歩む」第一歩となるはずです。



自然災害と損害賠償の関係

2018年は自然災害が相次いだ1年でした。本年も記録的な大雨となった台風19号など甚大な被害が発生しています。今号では昨年7月の西日本豪雨をはじめとする日本列島を縦断した強力台風など、主要風雨水害の損害額などの報告です。

災害が発生すると自宅や車などの資産にリスクが生じます。

これらの損壊とそれに対する賠償責任の有無について知っておく必要があります。

◎自然災害や延焼による被害は原則自己責任です!!

風災害での不可抗力による物損は所有者などへ賠償請求出来ない?!

台風などの風災害で、飛来物により自宅が損壊した場合、不可抗力による損害とみなされて、飛来物の所有者等には損害賠償は生じない可能性が高いといわれています。こうした場合に備えて風災を補償するタイプの火災保険に加入しておけば、飛来物により屋根や窓など自宅が損壊した場合に補償を受けることができます。

裏面へ続く 

【取り扱い保険会社】

[損害保険]

AIG 損害保険
損保ジャパン日本興亜
東京海上日動火災保険
日新火災海上保険
あいおいニッセイ同和損保
ニューインディア保険

[生命保険]

大同生命
ソニー生命
メットライフ生命
アフラック
SOMPO ひまわり生命
日本生命



2018年（平成30年）度に発生した主要風水災

損保協会は5月20日、2018年度に発生した風水災に係わる各種損害保険の支払い件数・支払保険金（見込み含む）等の年度末調査について取りまとめ公表した。それによると、支払保険金が最も多かったのは平成30年の台風21号で車両保険（商品車含む）・火災保険・新種保険（傷害保険含む）・海上保険を合わせた支払保険金は1兆678億600万円に上った。次いで、平成30年台風24号が3060億9100万円、平成30年7月豪雨が1995億9500万円。平成30年台風21号に係わる支払保険金は、1兆678億円で歴代最高額となった。

※ 損保協会調べ、19年3月末現在

支払保険金

合計 1兆5694億円

2018年（平成30年7月豪雨被害）

支払い件数 5万5320件

支払保険金 1955億9500万円

◎ 種目別の支払い件数・支種目払保険金

車両保険（商品車含む）	2万5110件・238億700万円
火災保険	2万4146件・1519億9100万円
新種保険（傷害保険含む）	6064件・152億9700万円

	都道府県	件数（件）	支払保険金（千円）
1	岡山県	14,693	75,582,093
2	広島県	14,994	47,510,875
3	愛媛県	4,447	21,149,042
4	福岡県	8,715	18,420,041
5	東京都	2,078	6,024,014

